

## 機械器具(21) 内臓機能検査用器具

一般医療機器 再使用可能な尿流量計 JMDN 36337000

特定保守管理医療機器

## ウロダイアリーチェッカー

## 【形状・構造及び原理】

## &lt;構成&gt;

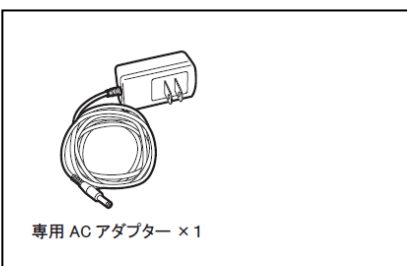
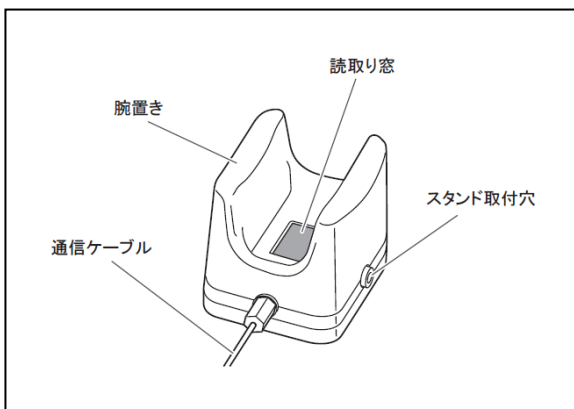
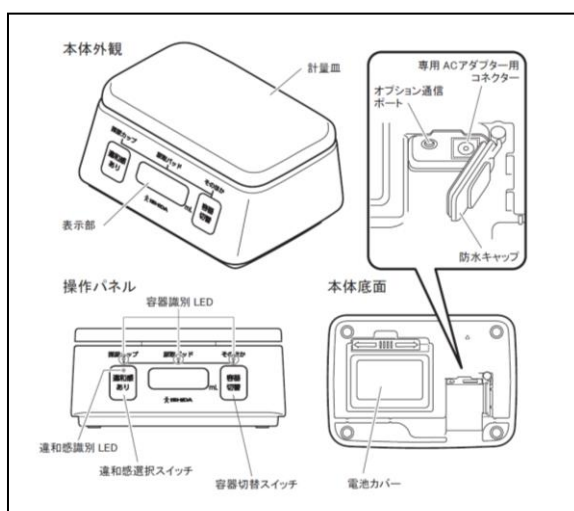
本装置の基本構成は以下の通り

(1) 本体

選択可能な（オプション）機器は以下の通り

(2) ウロダイアリーチェッカー専用バーコードリーダー

## &lt;形状・構造&gt;



## &lt;仕様&gt;

項目名	内容
使用環境	使用温度：5°C～40°C 使用湿度：10%～85%RH 以下(結露なきこと)
保管環境	保管温度：-5°C～50°C 保管湿度：10%～95%RH 以下(結露なきこと)
尿量計測範囲	0～1000mL
尿量計測精度	±5mL (100mL 未満) ±5% (100mL 以上)
尿量計測表示目量	1mL

## &lt;電氣的定格&gt;

項目名	内容
定格電源電圧	単相 AC100V (専用 AC アダプター使用時) DC3V (単 3 アルカリ乾電池使用時)
周波数	50/60Hz
消費電力	6.0VA (専用 AC アダプター使用時)
電撃に対する保護の形式による分類	・クラス II 機器 (AC 電源接続時) ・内部電源機器 (AC 電源不接続時)
電撃に対する保護の程度	BF 型

## &lt;原理&gt;

本装置は、容器等に採尿された排尿量の測定及び排尿情報（違和感の有無）の収集をし、排尿量、測定時刻、排尿情報を記録する機器である。尿量計測は、荷重により発生する歪み量を歪みゲージで電圧値に変換する、歪みゲージ式ロードセルにより行う。

## 【使用目的又は効果】

本品は、正常排尿時に尿量を間接的に測定する、単回使用ではない装置である。

取扱説明書を必ずご参照ください

## 【使用方法等】

### <使用前準備>

- 1) 必要な付属品が揃っていること、本品や付属品に汚れや破損がないことを確認する。  
(専用 AC アダプターで使用する場合)
- 2) AC アダプターを本品の AC アダプター用コネクタに差し込む。
- 3) ウロダイアリーチェッカー専用バーコードリーダー (以下専用バーコードリーダーと呼ぶ) を使用する場合は、専用バーコードリーダーの通信ケーブルを本品のオプション通信ポートに差し込む。
- 4) 安定した水平な場所に設置する。
- 5) 本品に計量皿を取り付ける。
- 6) 電源プラグをコンセントに接続する。  
(乾電池で使用する場合)
- 2) 乾電池を表示の向きに入れる。
- 3) 安定した水平な場所に設置する。
- 4) 本品に計量皿を取り付ける。

### <容器重量を登録する>

(患者ごとの容器重量を登録する)

- 1、計量皿に何ものっていないことを確認する
- 2、登録したい空の容器を計量皿にのせる
- 3、容器選択スイッチで登録したい容器を選択する
- 4、容器選択スイッチを長押しする
- 5、患者 ID バーコードを読み取る
- 6、空の容器の重量が表示部に表示され登録される  
(特定の容器重量を登録する)
- 7、計量皿に何ものっていないことを確認する
- 8、登録したい空の容器を計量皿にのせる
- 9、容器選択スイッチで登録したい容器を選択する
- 10、容器選択スイッチを長押しする
- 11、容器データが登録される

### <計測>

(患者 ID と紐づけて計測する場合)

- 1、計量皿に何ものっていないことを確認する
- 2、計量皿に測定するものをのせる
- 3、使用する容器を容器選択スイッチで選択する
- 4、排尿時の違和感の有無を違和感スイッチで選択する。選択しない場合は、違和感なしが選択される
- 5、患者 ID バーコードを読み取る
- 6、尿量が表示されブザー音が鳴ると測定データが保存される  
(本体のみで計測する場合)
- 7、計量皿に何ものっていないことを確認する
- 8、計量皿に測定するものをのせる
- 9、使用する容器を容器選択スイッチで選択する
- 10、排尿時の違和感の有無を違和感スイッチで選択する。選択しない場合は、違和感なしが選択される
- 11、ブザー音が鳴ると測定データが保存される

※測定結果は、登録されている容器の重量を引き、尿比重 1.020 を用いて mL 換算したものを

### <使用後の処置>

- 1) 本品から AC アダプターを抜く。
- 2) 破損や汚れの有無を外観で確認する。
- 3) 本品を清掃する。

## 【使用上の注意】

### <重要な基本的注意>

- ・必ず付属の AC アダプターを使用すること。

- ・引火性のある環境では本品を使用しないこと。
- ・本品は精密機器のため、床への落下、強くぶつけるなどによる衝撃が加えられた場合はそのまま使用しないこと。
- ・弊社指定外のオプション品・消耗品は取り付けないこと。
- ・電池の交換はプラス、マイナスの向きを本製品の表示の向きに合わせて、マイナス側から入れる
- ・専用バーコードリーダー測定窓の光を肉眼で近くから見ないでください

### <相互作用>

#### 【併用禁忌】

- ・放射線機器、MRI の管理区域内及び高圧酸素療法装置内へは持ち込まないこと。

## 【保管方法及び有効期間等】

耐用期間：5年[自己認証(自社データ)による]

## 【保守・点検に係る事項】

- ・汚れた状態で使用すると、正しく動作しない場合や、故障の原因となる。本製品を安全に使用するため、定期的に本体の清掃をおこなう。

### (汚れがひどい場合)

- 1、計量皿を取り外し、防水キャップを取り付けます
- 2、本体と計量皿を水洗いします。
- 3、乾いた柔らかい布等で水気をよく拭き取ります。

### (通常の清掃)

- 1、消毒液を浸したガーゼなどをよく絞ってから本体を軽くふきます。
- 2、その後、水またはぬるま湯を浸してよく絞ったガーゼ等で、消毒液をふき取ります
- 3、さらに乾いた柔らかい布等で水気をよく拭き取ります。

使用可能な消毒液：消毒用エタノール、消毒用次亜塩素酸ナトリウム液、クロルヘキシジングルコン酸塩、クレゾール石鹼液、ベンザルコニウム塩化物、イソプロパノール

- ・清掃前に必ず AC アダプターを抜くこと。
- ・オートクレープなどの滅菌器は使用しないこと。
- ・ドライヤー等の乾燥機は使用しないこと。
- ・本体を水洗いする際は、防水キャップをきちんと取り付けてください。
- ・使用可能な消毒液以外を用いた清掃は避けること。
- ・エアゾール製品を使用しないこと。

### <使用者による保守点検事項>

- ・詳細は取扱説明書を参照すること。

点検項目	点検頻度	点検内容
使用前点検	毎回	本体及び付属品の汚れ、破損の有無
定期点検	1ヶ月以内に1回	破損や汚れの有無、計測センサーの確認、日時の確認。

### <業者による保守点検事項>

定期的な保守点検はない。保守点検が必要な場合には、弊社または弊社の指定する業者に依頼すること。

## 【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

インダメディカル株式会社

電話番号 075-762-0330